

官民合同チームによる伴走型支援 ～企業自走化を目指したプロセスコンサルティング～

九州経済産業局では、地域経済を牽引する企業の自律的・持続的成長に向け、**官民合同チーム**(*)による『プロセスコンサルティング』手法を用いた**伴走型支援**に取り組めます。

(*) **官民合同チーム**：九州経済産業局職員と専門家（コンサルタント）からなるチーム。

- 支援期間（予定）：令和4年6月～令和5年3月
- 対象企業：九州内の『**地域未来牽引企業**』又は **地域未来投資促進法**（地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律）による『**地域経済牽引事業計画承認企業**』
- 支援希望企業募集期限：予算枠が埋まり次第終了。
(支援に伴い参加企業の費用負担はございません。)

伴走型支援のイメージ

- 経営者の方を官民合同チームによる『対話と傾聴』を通じ、本質的経営課題への気づきへ。
- 気づきを得た経営者の方が、深い納得感をもって能動的行動へ（**自走化**への動機付け）。

対話と傾聴



本質的課題への気づき



能動的な行動



①プレ訪問

②現状把握
(総点検)

③取組課題の
提案・決定

④支援計画の
提案・決定

⑤課題解決
着手

課題設定フェーズ

課題解決フェーズ

(6ヶ月程度)

(6ヶ月程度)

自走化

①総点検

財務、経営権、組織マネジメント、生産、市場リスクなど経営全般

(一次評価) **表課題**の特定

ex. 経営管理手法の見直し、組織再編、事業計画の策定など

(二次評価) **自走化視点**で評価

課題設定力

現状を評価し要改善点を認識し、実行案件を選択できているか？

課題達成力

課題解決のための方策・実行体制・管理手法があり、意思決定体制が整備されているか？

自主発動力

変化の必要性が組織内で共有され、自主的な取組を始められる素地があり、モチベーションが維持されているか？

“それはなぜ？” ⇒ **裏課題**の特定

②取組課題の設定

(表裏一体的な課題解決を目指す)

③企業主体の取組



表課題への取組を通じ裏課題を改善

支援事例① (製造業・従業員数約200名・売上高約70億円)

1. 支援お申し込み時の状況



70代経営者

- ・私の代で積極的に設計・開発の強化に取り組み、順調に事業を拡大してきた。
- ・(特に支援の必要性は感じていないが、せっかくの機会なので、) 外部からの視点で経営方針や今後の方向性についてアドバイスして欲しい。

2. 官民チームの支援 (15ヶ月間・21回)

①総点検
・社長・後継候補・各工場長へのインタビュー

5ヶ月 (5回)

- ・社長・後継者候補へのインタビューを通して、事業承継の具体的な取組は進んでいない状況が明らかに。
- ・また、各工場長へのインタビューでは、事業承継への不安や各工場の連携が不十分であることが浮き彫りとなった。

②課題設定
・取組課題のご提案・合意
・成功への道筋案のご提示

3ヶ月 (3回)

- ・結果として、「円滑な事業承継」を最重要課題として合意。
- ・具体的な取組として、取締役をリーダー、各工場長や部長クラスをメンバーとして次期中期経営計画案を策定し、事業承継の準備や次期経営チームビルディングを図ることに(=実践経験を積む)。

③課題解決支援
・活動計画のご提案
・プロジェクト運営のファシリテート

7ヶ月 (13回)

- ・月2回のペースでプロジェクトチームにて議論し(全12回)、次期中計が完成。官民チームは社員の主体性を重視しつつ、論点整理や事例紹介などを通して側面からの支援を実施。

3. 支援の成果

・最初は正直なところ半信半疑だったが、事業承継の方向性が今回のプロジェクト実施で明確になり、感謝。プロジェクトチームでは、回を追う毎に取締役のリーダーシップが発揮されるとともに、各自が自分事として経営のことを考えるようになり、次世代経営陣の成長を感じている。



70代経営者

※関東経済産業局作成「官民合同による伴走支援について」 [210831_bansoushien_gaiyou.pdf \(meti.go.jp\)](https://www.meti.go.jp/press/2018/03/20180313_001.pdf)より抜粋

九州経済産業局 企業成長支援課

TEL: 092-482-5435 Mail: kyushu-chiikimirai@meti.go.jp

企業の自走化

対話と傾聴で事実を把握

対話と傾聴で真因に迫る

対話と傾聴による気づき・動機付け